

ディスクゴルフ公式ルールブック

重要な変更点 (メジャーチェンジ?)

以下の改定によって、プレイヤーがカジュアルな障害物を動かすことができる範囲が大きく広がった。この変更は、助走に対応するために、より広い範囲からカジュアルな障害物を取り除けることをルールで認めてほしいというプレイヤーの要望に応えるものである。

803.1 動かせる障害物

プレイヤーがカジュアルな障害物を動かすことができる範囲が大きく広がった。変更後、助走をより安全に対応するために、より広い範囲からカジュアルな障害物を取り除く能力をルールで認めてほしいというプレイヤーの要望に応えるものである。

- B. 1. プレイヤーは、スタンスを取る際に支持点を置く **ライの前端よりもターゲットから遠い** プレー地表面上の非恒久的障害物を動かすことができる。

808 スコア

全プレイヤーが所属グループ全体のスコアをつけることが義務づけられる。当改訂により、スコアリングの任務が均等に分配され、スコアリングの正確性が最大限に高まる。また、不正確なスコアカードを提出したプレイヤーへのみにペナルティが制限される。

- A. ~~スコアカードの最初に記載されているプレイヤーは、グループのスコアカードをピックアップする第一義的な責任を負う。~~ **各プレイヤーは、各ホール終了後にグループ全体のスコアを記録した独立したスコアカードをそれぞれつけなければならない。スコアをつけることを拒否したプレイヤーは失格となる場合がある。**
- B. ~~一人のプレイヤーまたはボランティアのスコアキーパーがスコアをつけることに対し、グループ内のすべてのプレイヤーが認めた場合以外は、グループ内で均等にスコアをつけ合う。~~ **プレイヤーは、指定されたキャディにのみスコアキープを任せることができる。**

C. ~~スコアキーパー~~ 各プレイヤーは、各ホールが終了する毎にグループ内のすべてのプレイヤーのスコアを確認してそれぞれ記録する。いかなる警告またはペナルティスローも、ホールのスコアと一緒に記録しなければならない。

...

F. すべてのプレイヤーは、割り当てられたグループがラウンドを終了した時点から30分以内に各自のスコアカードをそれぞれ提出する責任がある。定刻までにスコアカード提出されなかったスコアカードを所有するプレイヤーには、2投のペナルティスローが課される。

...

G.2 各自のスコアカードの自分の合計スコアの計算間違い、もしくはホールのスコアの間違い、不正なスコアが記録された、または記入漏れがあった場合は、正しい合計スコアに2投のペナルティスローが加算される。これらのペナルティスローは、スコアカードを提出した後にすでに他の違反によって正しいスコアに補正された後であれば追加されない。

G.3 同じグループの他のメンバーが誤ったスコアカードを提出しても、正しいカードを提出したプレイヤーにペナルティスローが加算されない。

マイナーチェンジ

プレーエリアが途絶えるときにプレーの線がどのように扱うかが明確になった。

802.05 ライ

D. 全ての場合において、ライはマーカーディスクの後端からのラインを中心とする幅20cm、長さ30cmの長方形とする。プレーラインは、ターゲットの中心からマーカーディスクの中心への延長線上にある、プレーエリア上の仮想の線である。プレーエリアが途絶えた場合、プレーラインはその線の延長線上で、最も近いプレーエリアで続行される。マーカーディスクまたはマーカーは、802.06に従ってライをマーキングするために使用されるディスクである。

803.02 障害物からの救済措置

この変更により、有害な昆虫や動物がライの前方にいる場合は救済を受けることができるようになった。以前は、有害な昆虫や動物が直接ライの前にいる場合、プレイヤーは

救済を受ける権利がなかった。また、人も障害物から除外され、フェアウェイにいる人はトーナメントディレクターが対応する必要がある。

A. プレーヤーは、ライの上や後方にある次に上げる障害物から救済を得られる; 有害な昆虫や動物、~~ギャラリー(大)~~、もしくはディレクターが指定する物や区域。救済を得るためにプレーヤーは、(ディレクターからより重大な救済が発表されていない限り)プレーラインに沿ってターゲットから遠ざかり、さらにその救済を受けることができる最も近い場所に新しいライをマーキングできる。

806.5 ハザード

この変更により、隣接しているハザードと OB の境界線の扱いがより明確になる

B. ハザードエリアの端を定義する線は、ハザードエリアの一部である。線が OB とハザードエリアの間で共有されている場合、その線は OB 扱いとみなされる。

811 ミスプレーと QA-MIS

この変更により、(805.01.C と 811.F.3 との重複を考慮すれば) 重複するルールが削除される一方、新たな Q&A で解釈上の指針が与えられる。

~~2. 間違っ~~たターゲット: プレー中のホールの正しくないターゲットでホールアウトした際、次のスローが行われていない場合は、そのライ(間違っ)たターゲットの場所)から引き続きプレーを続ける。ターゲットがバスケットターゲットの場合、ディスクはプレー地表面上にあるとし、805.01.C に従ってプレーを進める。プレーヤーが次のホールでティショットした後の場合は、ミスプレーをしたホールのスコアに 2 投のパナルティスローがスコアに加算される。

811.F の残りの小項目は番号が一つ上がる。そして新たに QA-MIS-7 が追加される:

Q: プレーしているホールのターゲットではないバスケットターゲットにディスクが入りました。次にどうすればいいですか?

A: ターゲットを他の障害物と同様に扱い、ディスクの下のプレー面に自分のライをマークして (805.01.C 参照)、次のスローを投げてください。そのホールを正しく終了せずに、間違っ)て次のホールをプレーしてしまった (またはラウンドを終了してしまった) 場合は、ホールを完了できなかったこととなります。811.F.2 を参照。

QA-LIE-1

この変更は、OB 扱いの小川に架かる橋という、よくある状況を明確にするために必要なものである。

Q: 私のスローは、OB である小川に架かっている橋に着地しました。私は橋の上からプレーできますか？ それとも私のディスクが OB である小川の上にあるので OB ですか。もし、地上にかかる橋の上だったらどうなりますか？

~~A: 橋は、プレー地表面が他のプレー地表面の上に垂直に積み重なった場所の一例です。個々のプレー地表面は独立して扱われます。プレー地表面の上部また下部が OB であるかどうかにかかわらず、トーナメントディレクターが橋の上を OB であると宣言しない限り、橋はインバウンズ(セーフ)です。もし、2メートルルールが適用されている場合であっても、あなたのディスクはプレー地表面上にあり、上空ではないので当てはまりません。あなたは橋にライをマーキングし、ペナルティはありません。~~

A. この場合、TD は OB の意図を明確にする必要がある。コースルールが不明確な場合は暫定を使用する。一般的に、水の端が OB ラインである場合、ディスクが置かれているモノに関係なく、ディスクが完全にそのエリア内にあれば、そのディスクは OB とみなされる。OB ラインは垂直面上に延長される (806.02.F)。ディスクの一部がインバウンズの岸を越えていれば、そのディスクはセーフとみなされる。

事務事項

801.03 抗議 (アピール)

この変更は、809.02.の文言と統一させるためである。

C. オフィシャルまたはディレクターが近くにいない **くて抗議に提言できない** 場合、スローするプレーヤーは **ルール判定の結果ごとに連の (809.2 を参照)** 暫定スロー

を行い、後ほどオフィシャルまたはディレクターに判定を求める。ライが変わらない場合にはさらに追加スローを行う必要がない。

806.06 アウト・オブ・バウンズ

この変更にて、標準外のアウト・オブ・バウンズのオプションについて免除を受けたかどうかにかかわらず、プレイヤーは公表されているコースルールを守らなければならないことが明確になった。

2. ディスクが最後にイン・バウンズ側にあった位置から最長 1m 以内の任意のポイントで、プレー地表面に置いたマーカーディスクによってマーキングされるライ。

上記のアウト・オブ・バウンズ・エリアにおける上記の選択肢は、PDGA ツアーマネージャーの事前承認の元、ディレクターによって制限される場合がある。事前承認の有無にかかわらず、トーナメントプレー中、プレイヤーはディレクターが発表するコースルールを守らなければならない。

QA-THR-1

分かりやすくするために文言の修正をした。

Q. 私の投げようとした手がバックスイングの途中で木の枝にぶつかってディスクが地面に落ちました。そして、ディスクが私のライの前方に転がりました。これはスローとみなされますか？

A. いいえ。スローは、意図された方向へのディスクの移動が開始された時点で始まりません。バックスイングの前または最中に叩き落されたディスクは、スローとしてはカウントされません。

QA-OBS-3

803.01 の変更に合わせて変更された。

Q. 私のディスクが、落ちた大きな木の枝の下に静止しました。その枝は明らかに幹から離れていて、私のディスクの後方から前方へと伸びています。この枝を移動できますか？

A. はい。その枝の一部でもスタンスを取る際の支持点を置くであろう場所ターゲットに最も近いライの地点より後方にあるプレー地表面上に掛かれば、例えその枝のもう一方の部分があなたのマーカールの後ろよりもホールに近づいていたとしても、その枝を動かすことに差し支えありません。

QA-OBS-8

803.01 の変更に合わせて変更された。

Q. 巨大な蜘蛛の巣が、ちょうど私が投げたい前方にあります。私はそれを払い落とすことはできますか？

A. もし、それがあなたのスタンス内ライの地点より後方にあるプレー地表面上にあった場合、それは一般的事項の中の「破片」とみなされ、移動可能な障害物として除去することができます。それがあなたの飛行経路にあるだけなら移動することはできません。

QA-OB-5

答えの文言をより分かりやすくした。

Q. 私のスローは OB である小川の近くに着地しました。小川の縁は泥や草で覆われていて、ディスクが小川の中にあるかないかを判断することが困難です。別のプレーヤーが私のディスクに近づいて行き、水面下にあるかどうかを見ようとし、押して落としてしまいました。私のディスクは他のプレーヤーが触れたことによって、インバウンズ扱いになりますか？

A: いいえ。妨害とポジションのルールは、単に触れるというよりも、動かされたディスクについて明記されています。他のプレーヤーは、あなたのディスクの位置を変更したことはありません。実際のところ、しばしばディスクはその状態がどうなっているか、誰の物であるかを確認する必要があります。もし、あなたが OB かもしれない自分のディスクを動かしたならば、それは自動的に OB となります。しかし、もし他の誰かがそれを動かしたら自動的にインバウンズ（または OB）に扱うという対応したル

ールはありません。もし、そういう事態が起こった場合は、あなたのグループが合意する、おおよそのポジションにディスクを置き直すことになります。

QA-SCO-2

808 の変更についての新しい Q&A

Q: 私のグループのメンバーが紙のスコアカードを持っていて、自分のラウンドとホール
のスコアは正しい。しかし、そのカードの他のプレイヤーのスコアは、全員が実際に
投げたものとは全く違います。間違ったスコアカードに対するペナルティは、記入して
提出するプレイヤーのスコアにのみ適用されるが、他のプレイヤーのスコアが間違っ
ている場合はどうなりますか。

A: 他のプレイヤーのスコアに単純な間違いがある場合はペナルティの対象にはなりま
せんが、ランダムに数字を書き込むことはスコアを記録していることにはなりません
ので、そのプレイヤーはトーナメントディレクターから失格処分を受ける可能性があり
ます。プレイヤーは誠意をもってスコアキープに努め、スコアカードを正しく集計する必
要があります。ラウンドの終了時には、スコアカードを提出する前に、グループ内で
スコアカードの相違を調整する必要があります。誰かが正確なスコアカードをつけてい
なければ、調整の作業ができません。

QA-MAT-1

「余分なスロー」という文言を修正するために

Q. 相手は私のパットを OK にしてくれましたでも私は、自分のパットのストロークを
保っておくためにパットを投でたいのです。私はパットを行ってもよいですか？

A. いいえ。いったんあなたの相手がパットスローを OK したら、あなたはそのホールを
完了したことになります。その後に投げられたパットスローは、余分な練習スロー
になります。最初の余分なスローは警告を受け、その後の同スローはペナルティスロ
ーを受けます。ペナルティは次のホールを終了した投数に加算されます。

ディスクゴルフ競技マニュアル

重要な変更点（メジャーチェンジ）

1.05 練習ラウンド、プレーの開始、遅刻

この改訂は公式ルールの 808 の改訂と並行して行われる。プレーヤーに関するスコアルールは公式ルールに、TD に関するスコアルールは競技マニュアルに記載された。

~~G. トーナメントディレクターは、互いに独立して付けられるよう、各グループに 2 枚プレーヤー全員にスコアカードを提供する必要があります。これらのスコアカードは、同じメディアのものでも、異なるメディアのものでも構わない。808 スコアの条件を満たせるものであれば、デジタルでも物理的なカードでも構わない。2 つのスコアカードは、グループによって調整され、トーナメントディレクターが大会の公式スコア記録方式として指定した方法で提出する必要があります。~~

1.06 グループ分けとセクション分け

この変更は、C-Tier の第 1 ラウンドで、ディビジョンをランダムに混ぜることを打ち消すものである。この変更は、インターナショナル・プログラム・ガイドによると、アメリカとカナダにのみ適用されることに注意してください。

~~B.4. LT の大会 (PDGA の C-クラスの大会) は、グループ分け (最初のラウンドのみ) のために部門を無作為に混在させる選択ができる。唯一、ジュニア II ~ ジュニア VI 部門のプレーヤーは、同じ部門とみなして混在させることが可能である。~~

1.09 タイ（同順位）

この変更は、「サドンデスによるプレー」という用語を定義し、サドンデスによる順位の分割の適切な手順を成文化し、TD がアグリゲート・プレーオフを使用するオプションを導入するものである。

B. 下記 1.09.D で示される場合を除き、いかなる部門の優勝者を決める場合にも、または人数カットの場合にも、最終のタイ(同順位)はサドンデスにより分割されなければならない。トーナメントの開始前に、一定のホールまたは一定のホール群が、トーナメントディレクターにより明示されていない限り、サドンデスは1番ホールから始めるものとする。どのような状況の下でも、優勝者の決定(同順位の分割)のためにサドンデス以外の方法を用いるべきではない。

1. サドンデスによるプレーとは、あるホールで最もスコアの低かったプレーヤーが次のホールに進み、それ以外のプレーヤーは脱落するプレー形式である。ホールの最低スコアが1人しかいない場合、そのプレーヤーがタイブレイクに勝ち、サドンデス・プレーは終了する。サドンデス・プレー中はディスクゴルフ公式競技ルールと競技マニュアルが適用されるが、スローはプレーヤーのスコアには加算されない。

2. アグリゲート・プレーオフとは、サドンデスによるプレーの一種で、TD によって指定された6ホール以下をプレーし、全ホールの最低スコアがプレーオフの勝者となるものである。アグリゲート・プレーオフの結果、同点のプレーヤーは、TD によって別のホールが指定されない限り、同じホールで通常のサドンデスに進む。

3. サドンデスによるプレー (アグリゲート・プレーオフを含め) は、トーナメントの開始前にトーナメントディレクターによって別のコース、別のホール、または別の一連のホールが指定される場合を除いて、可能な限り直前のラウンドで使用したコースの1番ホールから開始しなければならない。チームプレーの場合は、直前のラウンドと同じ形式を使用しなければならない。

4. サドンデスによるプレーは、大会開始前に TD によって別の形式が指定されない限り、前のラウンドと同じ形式 (例えば、メダル・プレー、マッチ・プレー、チーム・プレー) を使用しなければならない。チームプレーの場合、本項においては各チームが1人のプレーヤーとみなされる。完全にシングルスで行われるプレーにおいて、タイブレイクにチームプレーを使用するサドンデス形式、または、完全にチームプレーで行われる競技において、タイブレイクにシングルスプレーを使用するサドンデス形式は、やむを得ない競技上の理由によるものでなければならず、大会開始前にイベントサポートディレクターの承認を得なければならない。

5. サドンデスによるプレーにおいて、プレーヤーがティーを開始する順番は(例えばジャンケンやコイントスなどの)ランダムな手段によって決定するのが望ましい。
6. サドンデスによるプレーで順位が決定しない場合、その次のホールのティーを開始する順番は、直前に終了したホールにおける順番を順送りにして交代させなければならない。
7. アグリゲート・プレーオフの場合、ティーを開始する順番は 802.02 で記述される順番になる。
8. もしアグリゲート・プレーオフを行った結果、2人以上のプレーヤーが同点のままで終了した場合、ティーの順番は順送りされる：
 - a. サドンデスによるプレーの最初のホールの順番を決めるために 802.02 に記述されている方法で
 - b. 1.09.B.6 に記述されている方法で、サドンデスによるプレーの残りのホールをプレーする。
9. プレイヤーはサドンデスへの参加を辞退することができる。その場合、順位と賞金または賞品は、同点同士の準決勝または決勝への出場を辞退したものとして決定される(1.08.D 参照)。

3.02 プレーのペース

この追加ルールは、グループを"オン・ザ・クロック"にするという概念を成文化し、"オン・ザ・クロック"になるということが何を意味するのかを定義し、関連する手続きを概説するものである。また、プレーのペースが個人だけでなくグループにも適用されることを明確にしている。

- A. すべての競技者は不適切な遅れをすることなく、速やかにプレーするものとし、グループに遅れずについていくためにあらゆる努力をする必要がある。不適切な遅れと

は、ルールで認められている以外のプレーの遅れで、後方のグループのプレーのペースに影響を与えるものをいう。

B. プレーヤーまたはグループはホールアウトしてから次のホールのティーエリアへ、不適切な遅れをさけ、後方のグループのプレーのペースに影響を与えないように速やかに移動しなければならない。不適切な遅れによって、後ろのグループのプレーのペースに影響してはならない。また、~~フェアウェイを回っている~~各ホールをプレーしている間も、プレーヤー及びグループはプレーを過度に遅らせてはならない。

C. 不適切な遅れを引き起こすプレーヤーは、グループまたはトーナメントオフィシャルから遅延行為を宣告される。具体的なペナルティについては PDGA 競技規則 802.03 遅延プレーに関する特別のペナルティを参照。

D. グループ全体が不適切な遅れを引き起こした場合、各プレーヤーはトーナメントオフィシャルによって時間超過の違反が発せられるべきである(802.03 「タイムオーバー」を参照)。この例には以下が含まれる：

1. ホールアウトした後、ターゲットに残ってスコアを記録するグループ。
2. 紛失したディスク (805.03 「ロストディスク」を参照) を探すときに、タイマーをスタートさせたり、制限時間を守ることを怠ったグループ。
3. プレーに関係のない行為でプレーを止めたり、遅らせたりするグループ。

E. トーナメントディレクター、または指定されたトーナメントオフィシャルの独自の判断により、あるグループが不適切な遅れを引き起こしている場合、そのグループは「オン・ザ・クロック」状態にできる。

1. オン・ザ・クロックとは、トーナメントオフィシャルがそのグループに付き添い、各プレーヤーのプレーが 802.03 「タイムオーバー」および 3.02.A-D に適合していることを確認するために積極的に時間を計り、それに応じて警告やペナルティスローを行うことを意味する。
2. トーナメントオフィシャルは、グループのプレーヤー全員に理解できるような方法で、オン・ザ・クロックであることを通知しなければならない。
3. グループが不適切な遅延を起こさなくなったとき、そのグループは「オフ・ザ・クロック」になる。オフ・ザ・クロックとは、トーナメントオフィシャルはもはや積極的にプレーのタイミングを計っていないことを意味する。

4. グループがオフ・ザ・クロックの場合、トーナメントオフィシャルはすべてのプレーヤーが理解できる方法で通知しなければならない。
5. タイムオーバーを繰り返したグループは、3.02.Cおよび 802.03「タイムオーバー」に記された罰則を受けることがある。

3.03 プレーヤーの不正行為

この変更により、Cティアレベルでは、アルコール類の持ち込みや使用に対して警告を出すかをTDの独自裁量から、失格が要求されることに変更になる。また、この変更により、「大会警告」の定義がより具体的になる。

B. プレーヤーが上記基準に違反した場合、トーナメントディレクターの独自裁量で、最初の違反に対して大会警告を発することを選択できる(3.03.Cに規定されている場合を除く)。大会警告は、全ラウンドおよびサドンデスプレーを通じて継続する。

セクション4：メジャーとエリートシリーズの大会

こちらの新設される章は、これまで競技マニュアルとツアースタンダードにバラバラに規定された、メジャーとエリートシリーズについてと特有の規定をまとめ、キャディ、チェックイン、スコアリングに関するいくつかの規定を追加したものである。関連する事務的な変更は以下に列挙されている。

日本の国内大会と関係がありませんので、別紙で翻訳し、後日まとめて通知します。PDGA 競技マニュアルをご参照ください。

マイナーチェンジ

1.02 トーナメント登録

この変更は、登録の段階と例外を掲載するための「適時に」を定義し、登録プレーヤーリストをPDGA イベントページに掲載することを義務付け、様々な事務的な修正を行う。さらに、これはPDGAの現会員を対象とした新しい登録階層を導入するものである。

日本の国内大会と関係がありませんので、別紙で翻訳し、後日まとめて通知します。
PDGA 競技マニュアルをご参照ください。

1.03 大会の辞退と返済方針

この変更により、退会申請の期限に関する文言が簡素化された。

F. プレー開始前 48 時間以内に辞退を申し出たプレーヤー、または、公表された登録締め切りと公表されたウェイティングリストの入れ替え終了後に辞退を申し出たプレーヤーは、払い戻しを受ける権利がない。TD が、公表された登録締め切りとウェイティングリストの補充終了時刻の後、かつプレー開始の 48 時間以上前に、辞退を申し出たプレーヤーの枠をウェイティングリストのプレーヤーで埋めた場合、そのプレーヤーは参加費の 100% の払い戻しを受けなければならない。

(F の書き換え)

1.04 大会チェックイン

この変更は TD がプレーヤーにチェックインの要件を通知するための基準を定めたものである。また、時差スタートや予定されたティータイムがある A ティアイベントでのプレーヤーのチェックイン要件についても概説している。

1. ~~メジャー、エリートシリーズ/ナショナルツアー、および~~ A ティアの大会のプレーヤーは事前のトーナメントチェックインが必須で、すべての他のティアの大会においても推奨される。
2. トーナメントディレクターにより指定された時間までにチェックインしないプレーヤーは、すべて公式な参加資格と参加料を没収される。例外は唯一、トーナメントディレクターの裁量においてのみ認められる。トーナメントディレクターは、最も早いチェックイン時刻の 48 時間前までに、チェックインの必要事項を登録ページまたは E メールでプレーヤーに通知しなければならない。
3. 時差スタートでティータイムが決まっている A ティアの大会では、プレーヤーは各日のティータイムの 5 分前までにチェックインしなければならない。この時間までにスターターにチェックインしなかったプレーヤーは 2 投ペナルティが課

される。このやり方は、他のすべてのティアにおいて、予定されたティータイムで時差スタートを行う場合に推奨される。

4. 811.F.5「ミスプレーの種類」に基づき、プレーヤーが最初のホールにて不在と見なされた場合、1.04.3のペナルティは適用されない。プレーヤーは不在のペナルティのみを受ける。
5. メジャーおよびエリートシリーズ競技のチェックイン要件については4.05を参照のこと。

1.06 グループ分けとセクション分け

この変更により、ダブルスやチームプレーの人数制限が調整される。

B. 部門内のすべてのプレーヤーは以下の方法のうちの1つによって、最初のラウンドのためにグループ分けされなければならない:

1. ランダムグループ分け; 部門内のプレーヤーは最初のラウンドのために無作為にグループ分けされる。全てのチームイベントはこのグループ分け方法を使用すべきものとする。

G. グループは5人を超えるべきではなく、可能な限り、常時4人のプレーヤーに制限されるべきである。チームプレーにおいて、チームの人数や奇数チームの出場により、グループが5人を超えることがある。

1.07 プレーの中断 (サスペンション)

この変更により、天候による試合中断中にプレーを続行したグループに対する罰則が追加される。

1. プレーヤーが、時期尚早にプレーを止めた場合や、中止の合図が鳴る前にプレーを止めた証拠がある場合は、トーナメントディレクターの判断で2投のペナルティスローが課せられるものとする。公式のプレー停止の宣言後、プレーを続行したプレーヤーは、そのプレーヤーがプレーの停止を十分に知らされていたことを示す証拠がある場合、2投のペナルティスローが課される。

1.10 賞の配分

これらの変更により、TD がプロ部門でプレーするアマチュアに商品を提供できるティアが明確になり、未回収の賞品を放棄する期間が短縮される。

- B. プロ部門でプレーするアマチュア部門のプレーヤーは A ティア以上の公式大会では、現金や現金の代わりにの賞品を受け取ることはできないが、もし用意されていれば、受賞される順位のトロフィーのみ受け取ることができる。この場合、以下のすべての賞金は順次下位の者に譲られて行き、賞金を受け取ることができる順位が追加される。プロ部門でプレーするアマチュアは、トーナメントディレクターの独自の裁量により、A ティアより下位のティアにおいて現金の代わりに賞品を受け取ることができる。受け取らない場合、その順位以下のすべての現金支払いは、1 つ順位が下がり、追加の順位が支払われることになる。当ルールはリーグ戦には適用されない (1.14.C.3 参照)。

3.01 一般

この変更点は、携帯電話の音鳴らしやポケットベルの禁止を、注意散漫の原因となるその他の機器にも拡大し、C 条項を読みやすく再編成したものである。

- ~~C. プレーヤーは、すべての競技ラウンド中にコース上に聞こえるような音量の携帯電話を持つことは許されない。さらに、個人的に使用する音楽プレーヤーその他の音響機器は、ヘッドホン等で使用されるべきである。そのボリュームは、他のプレーヤーに聞こえないように、また、スコアを記録する際にグループ内で対話することを防たげない、あるいは、「フォー！」の声やトーナメントディレクターによる警告音が聞こえずにプレーヤーの安全上の問題が発生しないような音量であるべきである。個人的な音楽プレーヤーやその他の機器のためにグループ内で対話することのができない場合は、マナー違反と見なされ規則違反とペナルティーに該当する。~~
- C. 音を出したり光を点滅させたりする機器は、2 分間の合図からスコアカードが提出されるまで、音を出したり光を点滅させてはならない。
1. プレーヤーが会場に持ち込んだ機器が音を出したり、光を点滅させたりする場合は、マナー違反となる (812 「礼儀 (マナー)」 参照)。ただし、血糖値計など、

プレイヤーの主治医が医学的に必要と認めた機器の使用は、マナー違反にはならない。

2. 音の出る機器は、ヘッドホンまたはイヤホンのみを使用し、音量は以下の条件が満たされるレベルに設定すべきである：
 - a. 他のプレイヤーに聞こえない。;
 - b. スコアキーピングや紛失したディスクを探すなど、プレイヤーがグループと効果的に交流できる;
 - c. 他のプレイヤーや大会スタッフによる警告信号が聞こえないことにより、プレイヤーに安全上の問題が生じないこと。

3. ヘッドホンやイヤホンの使用により、グループとの効果的な交流ができなかった場合は、マナー違反とみなされる(812「礼儀 (マナー)」を参照)。

3.03 プレーヤーの不正行為

これは、「汚い言葉やののしりの言葉」の意味を特定し、PDGA 細則の差別の禁止と部分的に結びつけるものである。

B. JPDGA・PDGA 公認の大会に参加中はプレイヤーがプロらしく、スポーツマンにふさわしく立ち振る舞うことが期待される。違反となる立ち振る舞いは以下を含むが、それらに限らない場合もある:

1. PDGA Bylaws 2.4 に概説されている PDGA の差別の禁止に反する、プレイヤーやグループを対象とした発言やコメントを含む汚い言葉やののしりの言葉を繰り返す。

1.12 トーナメントオフィシャル

この変更により、トーナメントオフィシャルはルールデジタルコピーを携帯することができること、また、プレー中のトーナメントオフィシャルが自部門のコールを行うことの禁止は、任命されたトーナメントオフィシャルだけでなく、すべてのトーナメントオフィシャルに適用されることが明確になった。

D. 各トーナメントオフィシャルは、常にトーナメントにおけるコース上のルールと PDGA ルールブックの両方を携帯しなければならない。コース上のルールと PDGA ルールブックは紙媒体でもデジタルでも構わない。

D. もしトーナメントにおいて、任命されたトーナメントオフィシャルが競技する場合は、彼または彼女は、規定により許されるグループのメンバーとしてのみ行動し、どのような判定のためにも自分が参加する部門内ではオフィシャルとしてルール判定を行わないものとする

1.11 オフィシャル

新設されたセクション 4 に情報が移動されたため

~~C. すべてのプレイヤーは、PDGA の NI 大会（エリートシリーズ/ナショナルツア）ほか主要な PDGA 承認大会において競技するためには、公認オフィシャルの資格がなければならない。試験は、PDGA 公認ディスクゴルフルールと PDGA 競技マニュアルに基づいて行われる。~~

3.04 衣装規定（ドレスコード）

この変更により、競技マニュアルの新設されたセクション 4 に項目が移動する。以下の文言の後、3.04.D の残りの部分は削除され、上記の通り 4.04 に移される。

1. ~~すべてのプレイヤーに関して次に述べる服装規定は、PDGA エリートシリーズ/ナショナルツアおよびメジャー大会で採用される。PDGA は、さらにこの服装規定がスーパーツアやそれ以下のクラスでの大会で採用されるように推奨する。しかし、決定はトーナメントディレクターの判断による：~~

3.05 カート、キャディ、およびグループ

~~G. PDGA メジャーとナショナルツアの大会においては、プレーグループは、プレイヤー自身、各々のキャディ、順位表を掲げる役のようなトーナメントスタッフ、トーナメントオフィシャルなどと、許されたメディアのみから成る。他の人々はプレーグループには参加できない。他の人々（すでにそれらのラウンドを終え~~

~~ていたプレーヤーを含む)は、すべて観客と考えられ、プレーグループから離れた指示された観客エリアに留まらなければならない。~~ 以下の条件が当てはまる人は大会のキャディを務めることができない：

現在、資格停止処分中（「現在の PDGA 懲戒処分」に記載）ではない者、または次の資格を剥奪された者：

1. 大会そのもの；

2. 2.01.E に定義されているように、別の日のイベント、または

3. 異なるティアの同時開催イベント（エリートシリーズイベントと同時開催の A ティアなど）；

3.06 ツアープレーヤーメディアとスポンサーの関係

新設されたセクション 4 に情報が移動されたため

~~B. PDGA エリートシリーズ/ナショナルツアーおよびメジャー大会のすべてのプレーヤーは、競技ラウンドの開始の 30 分前から競技ラウンド中の間、すべてのメディアによって取材可能であることを要求される。~~

~~C. B. メディアについての方針は www.pdga.com で PDGA メディアページを参照。~~

~~D. C. メディアスタッフは、プレーヤーがスコアカードをトーナメントオフィシャルに提出するまでは、プレーヤーへのインタビューを控えるべきである。~~